

市川で暮らしていきたい

いまだからこそ考える今後の生活

僕の中の医療的ケア

思いのままに生きていける地域こそ
誰もが暮らせる地域

みんなが楽しく暮らせるように
そんなことを考えてみましょう

2012年1月21日(土)12時～15時

勤労福祉センター本館 大会議室

(有)しえあーど NPO法人地域生活を考えようかい

李 国本 修慈



総武線で来ました!!^_^



新幹線もおー!!

2012年 市川市及び千葉県のみなさん
あけましておめでとうございます!!

言い切れる状況では無いですが、



みんなが
楽しく笑って
過ごせますように。。

今年もどうか
宜しく願いいたします。。

なんだか色々ですが、
なにはともあれ、
なにがどうあれ、で、
みんなで楽しくいきましょう。。

今日も笑って
いきましょう!!

なんとなく最近思うこと

ぼちぼち「しょうがいの重たさ」
などで語るのはやめたいなあ・・・とか

実は、私、市川だとか、習志野、柏、松戸
にはとっても思い入れがあります^-^

10年以上も前からとってもお世話になってまして、
今もとっても仲良くさせていただいています^-^::

当時と比べても、今はどうなんだ?とか

とりあえず、ちょこっと私のことについて
在日朝鮮人の3世なんで
日本国籍は持ってませんが、日本は好きです
と言うか、この国しか知りません^-^::

頭はでかいですが、気は小さいです・・・
山が大好きですが、ダイバーです^-^::

1965年のメーデー生まれ
だけども未だ芽が出ず^-^::

20数年前に間違っ
看護学校なんかに通っちゃって
今、こんなところに居るみたいで

おかしいことは感じたいし
できれば声にも出してみたい
解らない・不思議なことも

在日朝鮮人(外国人)の生き辛さ・・・
三世は未だマシ^-^::

幻覚?幻聴?なんじゃそりゃ??
OH!NO~っ!!(脳)

そして、入所施設に精神科病棟・・・

看護学校に通いながら通った「重心施設」に衝撃、、、

精神科病棟にもぶっ飛ばされる...

屁のつっぱりにもならない私なんぞ、、、

そんなこんなで90年代後半

東葛のみなさんに出会うっ!!^-^..

インターネットのおかげですね^-^;;

2000年9月に「地域共生スペースぷりぽ」



とにかくなんでも
障害の
程度や有無なんて関係なし
すごい需要
自由に楽しく・・・

「ぷり」は根っこ、「ぽ」は仲間・繋がり・・・

お金は無かったですが、裕福でした^-^::

そして、制度が始まりました、、、

支援費制度に障害者自立支援法

来年夏には「障害者総合福祉法(仮称)」

2003年支援費制度開始年4月に

「有限会社しゅあーど」設立

同時にNPO法人 地域生活を考えよーかい

ふたつの法人の意味だとか

活動が事業になる訳

あるいは事業になっちゃったコト

2012年は、本当に大切なモノ、コトを
改めて問い返し、みんなのものとしたいです

ここいらでぼちぼち本題へ

時間無くなりますし^-^::

やっぱし、「障害が重たい」なんてことによって
特定の生活様式を強いられたりっておかしいですよ

それに・・・

「障害」だとか「医療的ケア」だとか
「気管切開の〇〇ちゃん」や「人工呼吸器の△□くん」
なんて呼び方を抹消したいです^-^::

今でもそうですが

当時から、あぶれ(され)ていた方々・・・
重症心身障害などといわれる方々へと

活動と事業を混ぜてのお付き合い

最近思った変なこと・・・

とある相談支援に関わる方からの言葉

「そんな(に)相談ってあるの?」

「こけたから起して」「おしっこしたいねん」とか

「チューブが抜けて」とか・・・

「水道管が破裂した～」(さすがにこれは私やないで～::)とか、

「私があかんから、この子見とって」などなど・・・

「たわいのない」と言われそうな思われそうな、あれこれ。

相談ってなあに?とか、サービス(しかも有料の)を貼り合わせるだけの相談なんて・・・どうなん、とか。

だけど、本当に大切なことは、「ささい」だったり「ちょっとしたこと」を伝えられる相手が居るのか?ですよ。

なんて言っても、
繋がりを持てない方が多数いらっしゃり

何が言いたい?ですが・・・

たぶん、ご本人さんやご家族さんの

「たいそう」さを

みんなでよってたかって、なんとかしなきゃあ、で

てんで、なっていないんですが、
なんとかどうにかやっています^-^::

ほんとに言いたいのは、
そんなに大変じゃないということです(言い切る)

ちょっとステキ??なお話し

と言いつつ、おっかなびっくり、
綱渡りのなんですが・・・

2010年の暮れに度重なる誤嚥性肺炎の後、気管切開(喉頭離断)後、住み慣れた場所での暮らしをと、周辺みんなで支援し始め・・・たのもつかの間、2011年のお正月は病院暮らしT-T・・・。

改めての仕切いなおし後、5月15日に心肺停止。

だけでも、そこから復活、更に強固(気持ちだけは...)な支援プロジェクトによって、夏から1人暮らしにむけて、みんなでヨイショ!と。

その際にも再三の夜間の呼吸停止(大袈裟ですが本当です)だとか、夜通しの手動人工呼吸介助etc。

そーして2011年12月5日に新居に引越し!!。

楽しい年末年始(特に周辺者が)を過ごしました。



しえあーどはこんなところ

2010年9月1に新築移転オープン

敷地面積374㎡ 約113坪

自己資金1,500万円 融資6,500万円



みんなで設計
ゆとりはあります
活動内容はなっていないよーですが

何より大切にしたいと
彼女・彼らの介護給付費によるもの

しえあーどの活動状況

利用者さんの数:約180名

スタッフの数:常勤21名と非常勤25名

居宅介護(重度訪問・行動援護・同行援護)

移動支援・日中一時支援事業

相談支援・短期入所・訪問看護ステーション

利用サービス件数:約60件/日(たぶん以上)

月間1,800件以上で、コーディネートが大変!!

事業費:1,300～1,500万円/月(年商1億5千万!)

人件費率は75-80%で、

なんとかスタッフ年収400万円超え!!!

その他のことを

「地域生活を考えようかい」で

こっちのんが大切というか重要^-^...

移送サービス・自費サービス

相談(ほんとに細かなお願い事など)

研究・調査・イベント開催などなど

ぶりばの際もそうでしたが・・・
豊かさは、おそらくここに在る^-^:::

人と人との関わりの価値だとか…
何より、誰にも在る「存在価値」の確認を、と

私のやってることは道楽です^-^:::

でも、ゆとりは大切、主食も大切^-^!!



素振りも出来る^-^!!

すいません。
言い忘れてました、
私、元・野球少年^-^
少年時代は、

古田敦也さんより上手かった!!!

そんなことよりも
いろいろ、なんだかんだですが
それでもとっても楽しいもんです

で、ステキな方々

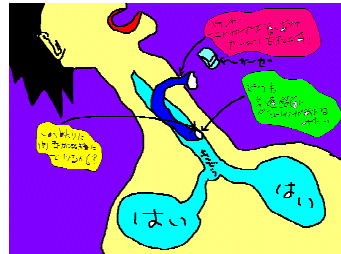
ものの見事に地域移行を果たしちゃった彼^-^



2011年鴻池5丁目界隈野球選手権前に

ステキな彼女っ^-^::

彼女も壮絶っ!かも?な人生^-^



お別れは
楽しいです
でも仲良しです

我がアジトに暮らす彼っ・・・

数年前におかあさんが他界して・・・

伊丹市では、けっこう大変??

ただども彼のおかげで変りつつある当市!!



毎日遊んでいる訳ではない・・・
ことも無い^-^:::

そして、超重症児などといわれる彼ら

**彼らこそをほったらかしてたらダメ!!
彼らこそが生き活きと暮らせるよーに!!**

**その人らしい生き方って?
とことん個別給付で自らの活動を創出**



**彼女・彼らの
生きざまに誇りを...**

2010年のクリスマス会

超重症児などと
いわれる彼等たちの
普通って・・・

息すること、生きる
ことの意味だとか、
彼等の「力」、
「はたらき」だとか

あたりまえですが、
機械に生かされてる訳じゃない。
呼吸器が息している訳じゃない。。

サンタのおぼちゃんは、
言いました・・・

彼等の力にぜんぜん追いついてない
福祉・医療・地域・社会

おでかけ 山歩き倶楽部



ふつーに趣味の・



六甲山最高峰!!!!



みんなでお出かけ



神戸フルーツフラワーパーク

昨年行われました（2011年8月25日）「ラーの会での宣言文です

2011. 8. 27

重症心身障害児者といわれる方々と共に生きる会 横浜大会 大会宣言のからの抜粋

一人ひとり（重症心身障害児・者といわれる方々）は、何もできない人、保護のもとにある人などでは到底あろうはずがありません。日々自己実現を目指し自分として自分らしく自分の人生を生きていこうとし続けている存在です。一人ひとりが地域社会の関わりの中で一人の市民として生きていこうとすることから、地域社会の中で新たな創造的営みを展開してきたこと。一人ひとりが地域社会の中に新たな価値観を生み出し本当に一人ひとりが大切にされる地域連帯のもとでの豊かさを満ちおこしていることを私たちは身を持って実感し続けてきました。

一人ひとりの存在価値のままに、地域生活展開と制度改革をおし進めていきたいと思います。

私たちの前で自身の暮らしを築き、一人ひとりの価値的物語を展開し、その人らしさを謳歌する一人ひとりのその立ち上がっていく主体は、厳然として暮らしを拓き続けてきましたし、これからもそうあり続けます。

間違いなくあるご本人さん（重症心身障害児・者といわれる一人ひとり）の存在価値と共に、私たち支援者というよりも共存者として共に立ち上がり、この機会にみんなを確認し繋がりあっていきたいと思います。

一人ひとりの存在こそが、地域・社会そしてこの国の希望です。

いまだからこそ考える今後の生活

やっぱり大切にしていきたいこと

基本は障害者権利条約

第5条 合理的配慮

そして、第19条 「平等の権利」

特定の生活様式を強いられない

そして、基本合意文書

「社会の対等な一員として

安心して暮らすことのできるものとする」

**このことは、
総合福祉法の骨格提言の基礎となる指針**

いまだからこそ考える今後の生活

ひとつの指針としての障害者総合福祉法の骨格提言の中身

**平等と公平 谷間や空白の解消
格差の是正 放置できない社会問題の解決
本人のニーズにあった支援サービス
安定した予算の確保**

**このまんま
各地域の第三期計画の方針にすれば良い・・・**

**総合福祉法骨格提言すらが
骨抜きにあいそうですが・・・**

さらにじっくりくみってみると 障害者総合福祉法の骨格に関する 総合福祉部会の提言 「はじめに」から抜粋

私たちのこうした思いが、国民や世論の理解と共感を得て、それが政治を突き動かし、障害者一人ひとりが自身の存在の価値を実感し、様々な人と共に支えあいながら生きていくことの喜びを分かち合える社会への一歩になることを信じて、ここに骨格提言をまとめました。

今、新法への一歩を歩み出すことが必要です。

まさに、我がまちでも

さらにじっくりくみってみると 障害者総合福祉法の骨格に関する総合福祉部会の提言「おわりに」から抜粋

・・・それは、とりもなおさず、「弱くもろい社会」から、一人ひとりの存在が心より大切にされ、誰もが排除されることなく社会に包摂される、本当に豊かな社会づくりに寄与するものであると確信しています。

今、日本中が協力して災害からの新生・復興をすすめ、すべての人が尊重され、安心して暮らせる社会を作ろうとしています。本骨格提言がめざす共生社会は、この新生・復興の日本社会の不可欠の一部となると信じています。障害者がその人らしく働いたり、社会活動しながら、暮らせる社会はすべての人が暮らしやすい社会でも在ります。

まさに、市川でも、我がまちでも

いまだからこそ考える今後の生活

まだまだ全くとっていいほど足りない資源

まだまだ置いてけぼり感のある

「重心」「精神」といわれる方々

「高次脳機能障害」だとか「遅延性意識障害」といわれる方々

まさに、障害者総合福祉法の
骨格提言にあるようなことなど

余計なことをすれば、
医療（機）が如何に低空飛行できるか？だと、

いまだからこそ考える今後の生活

私が思うに、というよりも、多くの方々（と言っても、ここにお集まりになっているような方々なんで、数は知れている、と思う）が感じている「社会資源の乏しさ」。

だけでも、この10年の間にも大きく（目まぐるしく）制度も変わってきました（決して全ての方にとっての「良い方向」ではないのかもしれませんが）。

おそらく、これからも、少しずつ（今回の総合福祉法の骨格提言もきっと削ぎ落とされて法案となるのかもしれませんが）みんなの望む制度へと変わっていくものかと思えます。

だけでも（ばかりですいません）、そんな流れを「待ってはいられない」方々に対して・・・、ここ千葉縣市川市周辺でも、様々な方々の思いが積み重ねられ（ここらも、やっぱり、ご本人さんの「力」なんだろうね、きっと）、やっぱり「共に生きる」だとか「共生社会の実現」だとか「支援者」などと偉そうに語っている輩（ん、私のことだっ、）こそが、「それ」を補わなくてどうするのだ!!と・・・（かなり強引・・・）。

私が言いたいのは、ほんの少しの「意識のあるもの(者)」(特に医療従事者)が、「地を這うように」とは言いませんが（いや、言ってる、すいません）、ほんの少し「低空飛行」できればな・・・ と。

絵に描いた餅よりも
間違いなく草の根的活動実践が先行すべし

個別実践の实体化こそが普遍性へと繋がる

と、私は思う。
し、そうあるべきだとも思う。。

その際に必要なのが、
彼女・彼らの存在の顕在化

彼女・彼らの存在の価値を

それが私たちの行う（べき）こと

昨年度(平成22年度)の調査報告書から等々・・・

「社会福祉士及び介護福祉士法の一部改正」
に基づく医療的ケアの法制化についても・・・

仕組み・制度と 本当に必要なモノは

平成22年度障害者総合福祉推進事業
医療ニーズの高い障害者等への支援策に関する調査報告書

以下のサイトから

<http://www.kangaeyo-kai.net/>

地域生活を考えようかい

平成22年度障害者総合福祉推進事業 医療ニーズの高い障害者等への支援策に関する調査報告書

P61～ 5. 総括 より

「決して医療的ケアが特別なものとせず、境目無くサービスを提供」

「重要なのは、特定の行為ではなく、特定の人」とのかかわりであるということ

「相談支援の重要性」・・・具体的かつ即時的な機能が必要

「MSWの重要性」と市町村の責任

「福祉サービスの際間を埋めることを誰かが担わない限り暮らしが成り立たない」「個別の支援を受けながら生活を維持している」実態

「施設（あるいは病院）」で提供される職員体制がしっかりしたサービスは時として（医療的ケアを要する方だとか）、その枠組み（組織・制度等）が利用に対して強固な壁となる場合があり、個別の支援を充実させることに重点を置いた方が、支援の量も幅も拡がる可能性がある。

いまだからこそ考える今後の生活

いまだからこそ、想うこと、くにもと的に^-^::

たくさんの課題があって、
必要な仕組みも考えねば、ですが・・・

彼女・彼らの存在価値を
はっきりと示していくこと

何かを言い訳にせず、誰かがやっていくこと

寄り添うって言うけれど・・・
擦り添い、張り添うくらいでいかなくちゃ^-^::

小規模多機能なんてはやりだけでも
それよりも、しっかり「多聞こう!」が必要^-^::

いまだからこそ考える今後の生活

やっぱり、想う

彼女・彼らの「力」 「社会的はたらき」の意味を

命 が 力

仕組みや制度は必要ですが、
そんなもにはまっではいけません
やっぱり、どう考えたって、
人は関わりや繋がりの中でこそ、
生きていけるのですから^-^;

べたな言葉で締めくくりますが(すいません^-^)
本当にそう思います^-^::

ご清聴ありがとうございました

とてもステキな街・市川であり続けますように!!^-^::

地域生活を考えようかい

<http://www.kangaeyo-kai.net/>

第2回うーの会西宮は3/24(土)の開催です!

宜しくお願いします!!!

